

受験番号	
------	--

2019 年度
摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程
入学試験問題

専門基礎科目

実施日 : 2019年 5月19日(日)

実施時間 : 9:30~10:20 (50分)

<注意事項>

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないでください。
2. この問題冊子の本文は、9ページ30問です。
3. 印刷不鮮明な箇所および脱落などがあれば、ただちに申し出てください。
4. 解答用紙は1枚です。解答はすべて解答用紙の指定された解答欄に記入してください。
5. 問題用紙に受験番号、解答用紙に氏名と受験番号を所定の欄に記入してください。
6. 答案が完成しても、退室することはできません。
7. 問題用紙は試験終了後に回収しますので、持ち帰らないでください。

問題1 次の【問1】から【問10】に答えなさい。

【問1】気管支の構造について、正しいのはどれか。

1. 右気管支は左気管支よりも長い。
2. 左葉には3本の葉気管支がある。
3. 右気管支は左気管支よりも直径が大きい。
4. 右気管支は左気管支よりも気管の縦軸との角度が鋭角である。

【問2】健康な成人の体重における水分の割合として、最も適切なのはどれか。

1. 20%
2. 40%
3. 60%
4. 80%

【問3】酸塩基平衡障害とその原因の組み合わせについて、誤っているのはどれか。

1. 代謝性アシドーシス —— 下痢
2. 代謝性アルカローシス —— 腎不全
3. 呼吸性アシドーシス —— 喘息
4. 呼吸性アルカローシス —— 過呼吸

【問4】拘束性換気障害を生じる疾患として、正しいのはどれか。

1. 慢性気管支炎
2. 咽頭腫瘍
3. 間質性肺炎
4. COPD

【問 5】 口腔ケアの効果について、正しいのはどれか。

1. プラークの形成
2. 唾液分泌の促進
3. 口腔内の pH の酸性化
4. バイオフィルムの形成

【問 6】 体位ドレナージについて、正しいのはどれか。

1. 痰の貯留が疑われる肺野を下にする。
2. 中枢気道に分泌物が貯留している場合に適応となる。
3. 下側肺障害の予防に効果が期待できる。
4. 吸引後に実施する。

【問 7】 高齢者における肺炎の一次予防について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 肺炎球菌ワクチン接種
- b. 健康診断での胸部レントゲン
- c. 呼吸リハビリテーション
- d. 口腔内の衛生管理

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

【問 8】 子供の発達・発育について、正しいのはどれか。

1. 身体各部の発達における臨界期は一定である。
2. 乳幼児期には、脳神経系が急速に発達する。
3. 新生児期には、遺伝より環境の影響を受ける。
4. 基本的な運動発達は、微細運動から粗大運動へ進む。

【問 9】 看護師の倫理原則とその例の組み合わせについて、誤っているのはどれか。

1. 無危害原則 —— リスクマネジメント
2. 善行原則 —— 守秘義務の遵守
3. 正義原則 —— 災害現場でのトリアージ
4. 自律尊重原則 —— リビング・ウィル

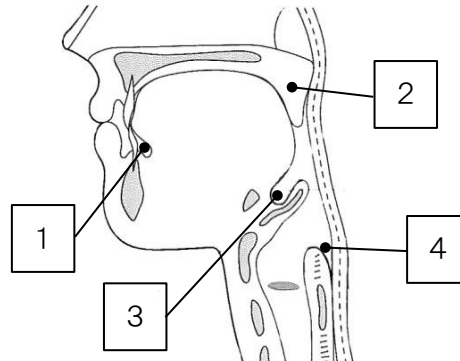
【問 10】 特定行為に係る看護師の研修制度について、正しいのはどれか。

1. 特定行為は診療の補助行為である。
2. 研修は都道府県知事が指定する研修機関で実施する。
3. 研修を受けるには 10 年以上の実務経験が必要である。
4. 看護師等の人材確保の促進に関する法律に定められている。

問2 次の【問 11】から【問 20】に答えなさい。

【問 11】 下の図に示す1～4の部位の名称として、誤っているのはどれか。

1. 口腔前庭
2. 軟口蓋
3. 喉頭蓋谷
4. 食道入口部



【問 12】 顎運動に関わる筋として、誤っているのはどれか。

1. 内側翼突筋
2. 口輪筋
3. 側頭筋
4. 咬筋

【問 13】 中枢神経系のしくみについて、誤っているのはどれか。

1. 視床は自律神経系の最初中枢である。
2. 大脳辺縁系は、本能行動、情動反応、記憶に関与する。
3. 随意運動の指令を出す運動野は中心前回に存在する。
4. 尾状核、被殻、淡蒼球は大脳基底核を構成する。

【問 14】 脳葉とその障害の組み合わせについて、誤っているのはどれか。

1. 前頭葉 —— 行動や人格の変化
2. 側頭葉 —— ブローカー失語
3. 頭頂葉 —— 半側空間失認
4. 後頭葉 —— 同名半盲

【問 15】 脳への血流を担う主な血管として、正しい組み合わせはどれか。

- a. 椎骨動脈
- b. 内頸動脈
- c. 外頸動脈
- d. 浅側頭静脈

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

【問 16】 脳神経とその機能の組合せについて、正しいのはどれか。

- 1. 顔面神経 —— 顔の感覚
- 2. 三叉神経 —— 額のしわ寄せ
- 3. 動眼神経 —— 眼球の外転
- 4. 舌下神経 —— 舌の運動

【問 17】 摂食嚥下の 5 期分類における「準備期」の障害として、誤っているのはどれか。

- 1. 口唇閉鎖不全
- 2. 送り込み障害
- 3. 食塊形成不全
- 4. 開口障害

【問 18】 咽頭嚥下圧形成に関わる運動として、誤っているのはどれか。

- 1. 鼻咽腔閉鎖
- 2. 食道入口部開大
- 3. 声門閉鎖
- 4. 咽頭収縮

【問 19】 嚥下反射について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 随意的な制御が可能である。
- b. 再現性のあるパターン運動である。
- c. 求心路は、孤束核を経由する。
- d. 嚥下反射の中樞は中脳にある。

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

【問 20】 咽頭残留をきたしやすい部位として、正しい組み合わせはどれか。

- a. 梨状陥凹
- b. 喉頭前庭
- c. 口腔底
- d. 喉頭蓋谷

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

問題3 次の【問 21】～【問 30】に答えなさい。

【問 21】 脳血管疾患の摂食嚥下障害について、正しいのはどれか。

1. Japan Coma Scale(JCS) I -3 のレベルでは、咽頭期が障害される。
2. 一側の核上性病変では、病巣と同側の舌運動が障害される。
3. 両側の上位運動ニューロンの障害により、球麻痺をきたす。
4. 偽性球麻痺では、咽頭期の嚥下パターンは保たれる。

【問 22】 神経・筋疾患の摂食嚥下障害について、正しいのはどれか。

1. ギランバレー症候群では、運動の反復により筋力が低下する。
2. 多系統萎縮症では、自律神経障害が摂食嚥下機能に影響する。
3. パーキンソン病の摂食嚥下障害は、Hoehn-Yahr 重症度分類と相関して進行する。
4. 筋萎縮性側索硬化症では早期から咽頭・喉頭の感覚低下が起こる。

【問 23】 喉頭全摘出術後の患者にみられる症状として、正しい組み合わせはどれか。

- a. 咀嚼がしにくい。
- b. においがわかりづらい。
- c. 飲み込んだ食物が鼻に逆流しやすい。
- d. 誤嚥をしやすい。

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

【問 24】 認知症患者の摂食嚥下障害について、正しいのはどれか。

1. 脳血管性認知症では、麻痺が嚥下機能に影響する。
2. 前頭側頭型認知症では、幻視による食事の中断がみられる。
3. レビー小体型認知症では早期から小脳症状が出現する。
4. アルツハイマー型認知症では、早期から咽頭期の障害がみられる。

【問 25】 加齢により誤嚥のリスクが高まる理由について、誤っているのはどれか。

1. 歯牙数が減少し、咀嚼力が低下する。
2. 呼吸筋の筋力が低下し、咳嗽力が低下する。
3. 食道の蠕動運動が低下し、食道通過時間が延長する。
4. 咽頭の感覚閾値が低下し、嚥下反射惹起が遅延する。

【問 26】 嚥下機能のスクリーニングテストについて、誤っているのはどれか。

1. RSST
2. OHAT
3. MWST
4. FT

【問 27】 嚥下訓練について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 間接訓練は食物を用いて行う。
- b. 間接訓練は誤嚥のリスクが無い。
- c. 直接訓練は覚醒状態の良いときに行う。
- d. 直接訓練は嚥下反射を確認してから開始する。

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

【問 28】 胃瘻による栄養法の特徴について、誤っているのはどれか。

1. 肺炎が予防できる。
2. 嚥下訓練を妨げない。
3. 長期の栄養管理に適している。
4. 胃瘻カテーテルの交換が必要である。

【問 29】 嚥下機能を悪化させる要因として、誤っているのはどれか。

1. 経鼻経管栄養チューブ留置
2. カプサイシン摂取
3. 筋肉量減少
4. 気管カニューレ留置

【問 30】 嚥下しやすい食形態の特徴として、誤っているのはどれか。

1. 凝集性が高い。
2. 付着性が高い。
3. 変形性が高い。
4. 食材の大きさが均一である。